



きよさとっ子

「おかえしの法則」

校長 遠藤 哲也

皆さんの近くに、「あの人の近くにいると元気になる」という人はいるでしょうか。あるいは、そこにあるだけで力が湧いてくる、見ると気分が晴れやかになるということはあるでしょうか。

先日、何気なく古本屋へ行って、ふらふらと歩いていると、一冊のすてきな本を見つけました。その本の題名は、「ありがとうの神様」。この神様とは、いったいどんな神様なのだろうとばらばらとめくってみると、あることが与えられると、人は元気になるらしいというページを見つけました。本の著者は、この元気になるエネルギーの頭文字を取って「おかえしの法則」と名付けました。

- ①「か(感謝)」・・・「ありがとう」と感謝されること
- ②「え(笑顔)」・・・笑顔を向けられること
- ③「し(賞賛)」・・・「今日はステキな服を着ていますね」などと、ほめられること



小林生観 著(2015) ダイアモンド社:「ありがとうの神様」より

「感謝」「笑顔」「賞賛」を浴びたものは、「プラスのエネルギー」を貯めているのだそうです。だから、エネルギーダウンしている人が、その前に立った瞬間にエネルギーが体の中に流れ込んでくるらしいのです。本の中では、富士山が例に挙げられていました。昔から称えられている富士山を見ると、何か不思議な力が湧いてくると言います。

先月も触れた大谷翔平選手で考えてみると、確かに全国の小学校へプレゼントしたグローブの配布で、何万人もの子どもたちから感謝されています。大谷選手のプレーに、世界中のファンが笑顔を向け、賞賛を与えています。一方で大谷選手は、普段から「感謝」「笑顔」「賞賛」を与え続けているため、自身の調子が悪いときに、世界中のファンからエネルギーをもらっているはずです。そして、このエネルギーはどんどん大きく膨らんでいきます。これが「おかえしの法則」です。

私たち学校の教職員も同じです。毎日、子どもたちにエネルギーを注いでいるつもりが、実は子どもたちから、毎日の多くの「感謝」と「笑顔」と「賞賛」を受け取っています。だからこそ、頑張っているなあ」「いい考えだね」「いつも助かっているよ」という声があちこちで上がり、もっとよい授業をしよう、もっとすてきな学級や学校をつくろうとやる気と元気が湧いてくるのです。

当校では、1・2月生活目標『ありがとうの気持ちをたくさん伝えよう』の一環として、ありがとうで心ほかほか旬間(2月5日~16日)中に、各学年で工夫した取組を実施しています。「おかえしの法則」でいうと、たくさん「感謝」「笑顔」「賞賛」を送ることができる人は、きっと普段からたくさんの「か・え・し」を受け取っている人なのではないでしょうか。

ご家庭でも、お子さんに笑顔で感謝や賞賛の言葉をかけてみませんか。すてきな「おかえし」が待っているはず。今日も笑顔で元気に過ごしてくれて、ありがとう。」

ありがとう心ほかほか旬間の取組(1年生)





1月、2月のトピック



★清里っ子は、学年末に向けて、学習に運動に元気いっぱいに取り組んでいます★

1/11 書き初め

3学期1週目はクラスごとに書き初めを行いました。どの学年の子どもたちも2学期や冬休みの成果を発揮して頑張っていました。お手本をよく見て集中して取り組む姿に、今年の清里っ子の一層の飛躍を感じました。



1/18 ともだちランド

生活科の学習で、動くおもちゃを作って遊んだ2年生が、1年生を遊び場に招待しました。遊び方を優しく教える姿、笑顔で盛り上げる姿。頼もしい2年生でした。5種類全てのブースを回ることができた1年生も大満足でした。



1/22～26 給食週間

「食べて学ぼう！上越の偉人」のテーマのもと、川上善兵衛など偉人にちなんだメニューが出されました。給食インタビューや厨房で働く調理員さんの様子の放映を通して、食への関心や感謝の気持ちを高めました。



1/30 キャッチボール

3年生が大谷選手寄贈グローブでキャッチボールを楽しみました。繰り返すことで、グローブで取る感覚をつかんでいました。その後、18.44mの投球に挑戦。「テレビで見るより遠い！」と驚いていました。



1/30 そり遊び

気持ちよく晴れた午後。1年生が生活科「ゆきとなかよし」の学習で、外に出てそり遊びを楽しみました。中庭の坂を利用して、チームごとに仲良く滑り、冬を満喫しました。



2/8 福祉教育授業

まちづくり振興会、上越あたご地域包括支援センターの皆さんをお招きし、福祉の学習を行いました。グループワークを通して、清里の現状から地域福祉で大切なことについて活発に話し合いました。



1/24 高学年スキー教室

2/7 中学年スキー教室

保護者ボランティアなど、指導者の皆さんに元気よく挨拶して始まったキューピットバレイスキー場でのスキー教室。初挑戦の子どもたちも含めて、どの班もリフトに乗って、ゲレンデを滑る楽しさを味わうことができました。



HP
随時更新中